

今月の PICK UP

『おやこ
父子で考えた「自分の道」の見つけ方』 野口 紘子・野口 健／著
誠文堂新光社 159.7 円



アルピニストである著者は、引っ込み思案な9歳の娘・絢子を連れて2013年に真冬のハケ岳登頂を成し遂げました。思春期の娘は父親と距離を置きたくなるものだと周りから言われる中、2019年にキリマンジャロ父子登頂を果たした直後、娘をニュージーランド留学へ送り出しました。

2022年コロナ禍の今、オンライン通話を使って親子で話す対話形式の本です。巻末にある、10代の君たちに送る「後悔しない人生のための7つのルール」と、すべてのお父さんに送る「子どもと向き合うための7つのルール」は、是非親子で読んでみて下さい。

『6カ国転校生ナージャの発見』 キリーロバ・ナージャ／著

集英社インターナショナル 372 円



作者は小中学生の頃、両親の転勤で世界6カ国（ロシア、日本、イギリス、フランス、アメリカ、カナダ）毎年違う国の学校に通いました。その体験から、机の並べ方・筆記用具・ランチ・テスト等それぞれの国での違いや発見を紹介しています。この本を読むと、たくさんの違いを知るとともに、これまでの「ふつう」がきっとひっくり返ります。



『シャーロック・ホームズの建築』 北原 尚彦／文 村山 隆司／絵・図

エクスナレッジ 930.2 円



英国の探偵シャーロック・ホームズが活躍した19世紀末の建築は、どのような外観、間取りだったのでしょうか。この謎をホームズ研究家と建築家の二人が、コナン・ドイルの16の作品より読み解き、充実の解説と絵図で紹介しています。時代背景や建築用語などの説明も興味深く、原作への理解がより一層深まります。



『人生はごちそう』 田村 セツコ／著 あさ出版 726.5 円



田村セツコさんの名前は知らない人も、絵を見たことのある人は多いのではないでしょうか。いつ見ても懐かしくて新しい、昭和、平成、令和の時代を生きる84歳の現役イラストレーターです。「樂しいことはもちろん、辛いこともすべて自分の人生を彩るエッセンス」「自分の身に起こることはすべて栄養」という田村さんが書く文章には、人生を楽しむ秘訣がちりばめられています。読めば、気持ちが軽くなって元気になれるエッセイです。



『日本語をつかまえろ!』 飯間 浩明／文 金井 真紀／絵 每日新聞出版 810.4 円



国語辞典編さん者の著者が、ことばにまつわるいろいろなことを具体例を挙げて紹介しています。例えば、「白」の反対語は？「どんぶらこ」はモモ専用？など、いざ問われると答えに詰まるようなことや、「ばえる」「分かりみ」など近年の流行語についてなど、知れば納得、くすっと笑えて気軽に楽しめます。

続編「日本語をもっとつかまえろ!」もあるので、併せて読んでみてください。